

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし

若者の力でにぎわいを (12月17日 栄町商店街)

栄町商店街の空き店舗を活用し、地元高校生がチャレンジショップやギャラリーを開く試みが始まりました。生徒たちの活動を紹介し市民と交流する場を設け、商店街のにぎわいづくりを図ろうと、市が同商店街の協力を得て実施したものです。

初日は高梁城南高校が、地元菓子店と共同開発した地元産ピオーネ使用のクッキーとバターケーキのセット30個を販売。23日には高梁高校吹奏楽部の演奏会も行われました。2月までの期間で、高梁日新高校のネイルサロンなど、各校2~3回の企画が予定されています。



すっきりとすす払い (12月18日 備中松山城)

備中松山城ですす払いが行われ、国の重要文化財である天守や二重櫓の一年間の汚れが落とされました。市教育委員会が屋根瓦の点検を兼ねて行っている年末恒例の行事で、時折雪の舞う中、命綱をつけた作業員がたまった落ち葉などを手際よく払い、お城はすっきりときれいになりました。

ふれあいのまちを目指して (12月23日 文化交流館)

「ボランティア実践発表シンポジウム第10回記念大会」(同実行委員会主催)が行われました。

記念講演後に行われた実践発表では、高校、大学、市民の代表が、日ごろ取り組んでいるボランティア活動の成果などについてそれぞれ発表。関係者や来場者らは、ボランティアへの理解を深めました。



感謝の気持ちでグラウンド整備 (12月12日 成羽運動公園野球場)

長年の使用で傷んだ野球場のグラウンドをきれいにしようと、グラウンド整備が行われました。

この野球場を日ごろ利用している成羽野球協会のチーム、少年野球、日新高校、吉備国際大学から集まった60人が、ショベルやブラシを使って、10トンのダンプ6台分の黒土をならし、凸凹したグラウンドを平らになるよう整備しました。



聖なるベルの調べ (12月12日 高梁キリスト教会)

紺屋川沿いに飾られたイルミネーションとライトアップにより幻想的な雰囲気漂う、県内最古の教会堂で「クリスマスふれあいチャリティーコンサート」(高梁市青年経済協議会主催)が行われました。

女性6人のグループ「ベル・クワイア岡山」がいくつものハンドベルを巧みに操ってクリスマスにちなんだ曲を演奏し、訪れた人たちは美しいベルの音色に聴き入っていました。

なお、当日、来場者から寄せられた募金は、市内幼稚園などに配布する絵本購入に充てられる予定です。



新鮮 特産青空市 (12月5日 大阪府吹田市)

市の農産物や農産加工品等を都市で販売し、高粱をPRしようと、阪急千里線北千里駅前広場で「晴れの国おかやま備中高梁“新鮮”特産青空市」が開催されました。

市内の直売施設や商工会議所職員、市職員ら15人がハクサイ・ホウレンソウなどの野菜やユズ味噌などの農産加工品、商工会議所認定の高梁ブランド商品などを販売。駅利用者や周辺からの多くの買い物客でにぎわいました。

広げよう 学びの輪 (12月12・13日 文化交流館)

「公民館フェスティバル2009」(市公民館連絡協議会主催)が開かれ、市内15公民館講座生が一堂に集まり、日ごろの生涯学習活動の成果を発表しました。「展示の部」には手芸や書、絵画など約500点の力作が並び、最終日の「発表の部」は24団体が出演し舞踊やコーラス、太極拳などを披露。来場者は作品や発表に熱心に見入っていました。



お年寄りとのふれあい (12月15日 有漢農業構造改善センター)

有漢地域の独り暮らしの高齢者と児童が交流する「風ぐるまサロン」(有漢地区民生委員児童委員協議会主催)が行われました。

3度目の開催となった今年は、有漢東小学校の5・6年生が、お年寄りと一緒にゲームやトランプなどで、楽しいひとときを過ごしました。